



## 木原町合同体育大会



パワー全開の綱引き



見事な倒立です



白組の勝ちだぞー！

## 華麗なバトンパス



## 糸崎小学校運動会

### スマイルひょこひょうたん島



## ◇体験教室開催のお知らせ◇ 誰でも楽しめるニュースポーツ

### クッブ トリコロキューブ



### インドアペタンク カローリング



日時：8月4日(日)  
9:30~12:00

定員：20名

受講料：100円

講師：岩田 義夫さん

申込期間：7月1日(月)~8月2日(金)

問合せ：系崎コミセン 62-6799

## 第9回三原市民 ゲートボール大会

糸崎・木原チームは、残念ながら決勝トーナメントに進むことは叶いませんでした。厳しい暑さの中、選手の皆さんお疲れ様でした。



## 道徳の「コラム」

### 老舗の家訓「心」

日本社会には、代を重ねて物事を受け継いでいくことを尊重する文化が根付いています。その代表的な例が老舗の存在です。日本には、創業から百年以上の企業が十萬社、二百年以上の企業でも三千社以上あるといわれており、これは世界の各国と比べても、圧倒的に多い数字です。

ここで興味深いのは、会社としては続いていても、その事業の本身は時代に依りて変化してきているところが少なくないことです。一例を挙げれば、鍛冶屋として出発し、刃物から洋食器へ、そこから広く生活用品全般を扱うようになった会社があります。金属加工の技術を受け継ぎながら、時代に依りて仕事の内容を変えて、生き残っているわけです。

一方で、こうした老舗の多くに共通するのは、代々伝えられてきている家訓の存在です。商売を営んでいくうえで重要な項目を子孫のために書き残し、それを代々の当主が受け継いできたのです。質素儉約や正直な取引、お客様への奉仕、地域への貢献など、内容はさまざまですが、いずれも重要な心構えです。このような家訓を守り続けることで、周囲からの信頼が得られ、それが永続的な事業の基盤となっているのです。

事業の形は時代に依りて変化させていきながらも、芯となる精神はしっかりと受け継いでいく。それが老舗の生き残りの重要な鍵といえるでしょう。

(ニューモジュール五二六号より)